



郡上森林組合

第15回 通常総代会を開催

第33号 令和元年9月



郡上森林組

(あいさつする石田組合長)

議長には八幡地域の羽田野利郎さんが選出され平成30年度事業報告や令和元年度事業計画等9議案が審議され、すべて原案どおり可決承認されました。その内容を報告いたします。

令和元年6月25日に、郡上市総合文化センターにおいて野島県会議員ほか多数のご来賓をお迎えして、第15回通常総代会を開催しました。



(あいさつされる野島県会議員)

平成30年度 事業報告

■ 主要な事業活動の報告

事業内容は、従来の岐阜県森づくり基本計画にある「生きた森林づくり」「恵みの森林づくり」に沿った、木材を切って搬出する林産事業に積極的に取り組みました。木材の販売は長良川木材事業協同組合への安定供給と、木材センターでの市売りの増加を達成することができました。

林産事業については、間伐材搬出事業を中心に実施しました。当初は搬出間伐及び皆伐材積で50,000m³を計画したところ、実績で45,934m³、計画対比92%となり、長良川木材事業協同組合の出荷においては、市内の素材生産者のご協力もいただき25,853m³、301,326千円の実績を上げることが出来ました。また、木材センターの取扱数量は23,543m³、販売金額は244,934千円の実績となり、組合員への貢献をしました。

森林整備事業の事業量は、計画に対し96%の実績となりました。事業収入は当初計画の185,175千円に対し191,849千円で、計画に対し104%の実績となりました。岐阜県環境税を活用した環境保全林公的整備事業及び環境保全整備事業については、積極的に推進を行い196haの実績を上げる事が出来ました。

作業道事業は、開設延長25,882m、補修延長60,724mを実施しましたが、倒木、土砂崩れ、路面荒廃等による作業道補修費に対する補助金が削減された事により、11,929千円のマイナスとなりました。

経営計画は、今年度も10団地1,828haを樹立し、今までの累計で136団地18,884haとなりました。

利用事業では、所有者の要望を受け境界明確化事業を、2地域で実施し137haの実績を上げる事が出来ました。

この結果、事業内容は林産事業、木材流通事業、森林整備事業が実績を伸ばし、事業総収益で当初計画の1,247,000千円に対し、実績は1,256,396千円となり計画対比101%の増加となりました。事業費用を引いた事業総利益では計画対比115%増の250,600千円の実績となり、事業管理費を引いた事業利益は21,252千円の成果となりました。

厳しい状況の中ではありますが、このような実績を上げることが出来ましたのも、国・県・市関係機関の温かいご指導、ご声援と組合員のご理解ご協力のおかげと感謝申し上げます。

■ 第15回総代会提出議案

- 第1号議案 平成30年度事業報告,貸借対照表,損益計算書,剰余金処分案,注記表,附属明細書の承認について
- 第2号議案 令和元年度事業計画の設定について
- 第3号議案 令和元年度借入金最高限度額の決定について
- 第4号議案 令和元年度余裕金の預け入れ先金融機関の決定について
- 第5号議案 令和元年度における1組合員に対する貸付金の最高限度の決定について
- 第7号議案 令和元年度役員報酬の決定について
- 第8号議案 共同施業規程の一部改正について
- 第9号議案 森林簿情報の利用に関する同意について
- 附帯決議



(議長の羽田野利郎様)

◆ 貸借対照表 ◆ (単位:千円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
現金・預金	774,276	買掛金	181
売掛金	38,757	未払金	91,598
未収金	142,257	未払法人税・消費税	543
棚卸資産	830	前受金	3,825
未成工事勘定	39,750	預り金	15,039
その他の資産	490	販売預り金	28,265
貸倒引当金	△ 529	賞与引当金	9,388
流動資産計	995,831	流動負債計	148,839
有形固定資産	215,197	長期借入金	79,800
無形固定資産	20,507	退職給与引当金	156,612
外部出資金	51,211	役員退任引当金	12,245
その他固定資産	1,012	固定負債計	248,657
固定資産計	287,927	負債合計	397,496
資産合計	1,283,758	【純資産の部】	
		出資金	264,102
		再評価積立金	249
		法定準備金	264,861
		任意積立金	244,900
		目的積立金	70,000
		当期末処分剰余金	41,651
		資本準備金	499
		純資産合計	886,262
		負債・純資産合計	1,283,758

◆ 剰余金処分 ◆

当期末処分剰余金	41,651
法定準備金	1,000
利用高配当金	11,351
目的積立金	16,000
次期繰越剰余金	13,300

◆ 損益計算書 ◆ (単位:千円)

科目	金額
指導事業総利益	△ 1,898
販売事業総利益	197,038
森林整備事業総利益	55,461
事業総利益計	250,601
人件費	207,570
旅費交通費	783
事務費	4,637
業務費	2,607
諸税負担金	3,604
施設費	10,013
雑費	135
事業管理費計	229,349
事業利益	21,252
事業外収益	8,971
事業外費用	3,507
経常利益	26,716
特別利益	76,923
特別損失	99,343
税引前当期利益	4,296
法人税、住民税	746
当期剰余金	3,550
前期繰越剰余金	13,101
目的積立取崩	25,000
当期末処分剰余金	41,651

令和元年度 事業計画

■ 運営の基本方針

国においては、森林経営管理法による「森林環境税」及び「森林環境譲与税」が財源として創設され、市町村主体となる、森林所有者と意欲と能力のある森林経営者を繋ぐ新たな森林管理システムがスタートし、昨年度、郡上森林マネジメント協議会が発足しました。

こうした中、当組合は地域の適正な森林管理と林業の中核的な担い手として重要な役割を果たすべき期待は一層高いものとなり、期待に答えながら継続的な運営を行っていくためには、従事業の運営の効率化、低コスト化に努めつつ、健全な自立的経営に向けて抜本的な改革を継続して進める事が不可欠であり、組織体制の充実強化及び事業の改革・活性化に積極的に取り組みます。

林産事業については、素材生産量5万m³以上を目標として間伐及び皆伐事業の推進をはかり、安定経営に努めます。木材流通事業では、長良川木材事業協同組合への納材対応を中心に事業を推進し、高品質の木材については市売り機能を利用し組合員が有利になる販売に努めます。

また、長良川木材事業協同組合の納材が増加したため、木材土場の借り上げを検討します。作業道事業については開設25,072m、補修39,800mを計画し、木材の生産性を高める路網整備に取り組みます。

森林整備事業については引き続き、県の「清流の国ぎふ森林・環境税」導入による、清流の国づくりを目指して森林と環境の整備推進により、当組合も環境税間伐の304haを含め保育間伐事業を約417ha計画しました。

また、経営計画の樹立も積極的に推進し、従来の林班計画に加え区域計画も検討して10団地、1,200haを計画し、令和元年度末には累計で146団地、20,000haを目標にします。

組合員事業及び機関造林・公共事業の確保の為、営業活動を強化します。特に、組合員事業の推進は施業団地に基づいて計画的に事業を提案し効率の良い施業を推進していきます。

安全衛生関係は年間労働安全スローガンに「忘れるな基本動作と危険予知」を掲げ、現場作業等における安全作業技術のさらなる向上を目指し、安全衛生大会・安全衛生委員会・安全朝礼を実施し安全意識の向上に努めます。また、定期健康診断や特殊健康診断の受診を行い従業員の健康保持に努めます。

中核的な役割を果たすため、コンプライアンス強化を推進するとともに適正な運営を推進します。労働力確保対策については、緑の雇用事業による森林技術者新規参入者の育成に努めます。役・職員及び森林技術者の資質向上、技術力向上のための研修会・講習会には積極的に参加します。

森林法・国の補助金体系も大きく変わり組合の事業内容も毎年変化する中で、森林組合の将来を見据えながら、「組合員の為の組合」の理念を基本に郡上の山林は組合が守る使命感をもって進みたいと存じますので、国・県・市・関係機関のご指導と、組合員の皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

科 目	金額(千円)
指導事業総利益	△ 1,950
販売事業総利益	171,278
森林整備事業総利益	58,094
事業総利益計	227,422
人件費	201,013
旅費交通費	934
事務費	3,671
業務費	3,203
諸税負担金	3,991
施設費	10,267
雑費	94
事業管理費計	223,173
事業利益	4,249
事業外収益	8,504
事業外費用	3,528
経常利益	9,225
特別利益	150
特別損失	50
税引前当期利益	9,325
法人税、住民税	543
当期剰余金	8,782
前期繰越剰余金	13,300
当期末処分剰余金	22,082

令和元年度 安全衛生大会を開催

7月30日 大和生涯学習センターにて開催し、労働基準監督署長大口様・地方産業安全専門官古川様より『林業における安全衛生対策』の講義をいただきました。郡上市での林業災害発生状況は全国の約1.7倍、また他業種と比較しても重大事故が多いという事実と、実際の事故事例も踏まえたご講演をいただきました。日々の作業に潜む危険の芽を事前に摘むべく、リスクアセスメントの重要性を再認識しました。



NEXCO中日本森下様より『高速道路交通安全セミナー』を実施いただきました。迫力のある映像と実際の事故事例を元に非常に参考になる内容でした。業務中はもちろん、日頃から安全運転に努め、事故を起こさない為の基本を再確認させられました。



体験談を語る岡田和彦さん



組合長より安全ブーツの貸与

新たに3名が仲間入りしました

職員



みふね よしゆみ
三船 淑史

業務課に配属になりました。
危険な作業が多い林業の現場のサポート役として頑張りますのでよろしくお願いいたします。



しみず ゆうすけ
清水 雄介

経営計画課に配属となりました。
郡上の森林を適切に管理できるよう、所有者の方へ提案をしてまいります。よろしくお願いいたします。

森林技術者



たかはし りく
高橋 莉久

保育・造林作業をしています。
手探りの状況ですが一人前の作業員になれるよう、日々学んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

郡上森林マネジメント協議会が発足

郡上森林マネジメント協会事務局長を仰せつかりました樋口亨二と申します。郡上の森林・郡上森林組合のため微力ですが頑張っておりますのでよろしくお願いいたします。

郡上森林マネジメント協議会は今年2月に設立され、郡上市より森林組合へ事業委託されています。郡上地域の森林の一元管理並びに 周辺地域を含む川上から川下の連携を図り、森林資源の保全と管理に努め、その循環利用の確立を図るとともに林業・木材産業の生長産業化に寄与することを目的として各種の事業展開をしてまいります。

組合員の皆さまには今後とも格別のご理解、ご協力の程お願い申し上げます。



ひぐち きょうじ
樋口 亨二

マネジメント協議会事務局長

山づくりは道づくりから

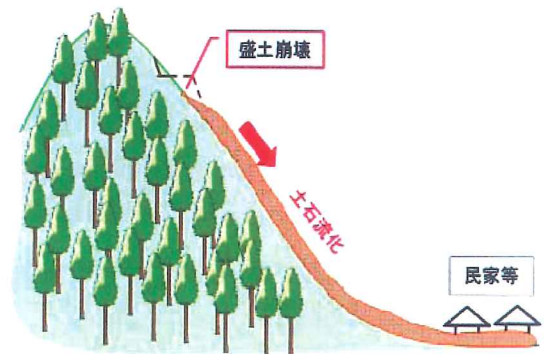
【路網整備課】

■森林作業道

森林作業道は、間伐をはじめとする森林整備、木材生産のために継続的に使用する道であり、地形に沿った線形で土構造を基本とし、作設費用を抑えつつ、繰り返しの使用に耐えられるよう丈夫なものであることが必要です。これを踏まえ、路体は堅固な土構造によることを基本としています。構造物は急傾斜地などやむを得ない場合に限り設置を検討します。郡上市内の森林は30度以上の急傾斜地が多く、活断層の密度は全国的にみても高い地域であり、このような条件下で丈夫で簡易な道を作るためには、地形を適切に判断することが不可欠です。森林作業道を作設する上での最低限考慮すべき事項は次のとおりです。

① 盛土の崩壊による土石流の発生に注意

盛土が崩壊すると、崩壊土砂が斜面を流れ下る過程で下方の斜面や谷の土砂を巻き込み土石流化することがあり、下方の民家等に甚大な被害を及ぼす恐れがあります。盛土の崩壊により下流に被害を与えることがないように、盛土の細工は細心の注意を払いながら行わなければなりません。



盛土崩壊による土石流の発生

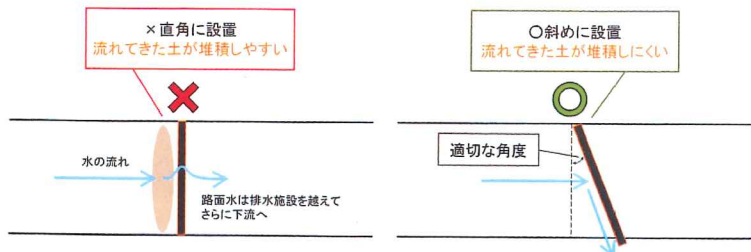


② 下り外カーブでの想定外の排水に注意

写真は、路面水がカーブを直進したため、想定していない箇所へ路面水が流下し、崩壊が発生したものです。降水量が多い場合は、路面水が流下するエネルギーも大きくなり、水の流れる方向をコントロールすることが困難になります。この場合は過大集水型や施工不適型の排水箇所が発生しやすいので注意が必要です。

③ 排水施設の設置角度を工夫して維持管理を省力化

排水施設を道の進行方向に対して適切な角度をつけて設置すると、排水施設に土砂が堆積しにくくなります。なお、設置する角度は縦断勾配や土質などを考慮して決定します。



資料（岐阜県森林研究所より）

森林作業道開設実績（郡上森林組合）

森林作業道	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
開設延長	28,889m	19,839m	26,665m	24,610m	25,882m

ブラザーの森 郡上植樹活動(4月20日)

今年も白鳥町二日町でブラザー工業様による植樹が行われました。平成20年から始まった植樹活動は、今年で12年目となりました。皆勤の方や、初参加の方など皆様精力的に動いてくれました。



第10回長良川源流の森育成事業(5月12日)

郡上漁業協同組合様主催の植樹をお手伝いしました。今回は植栽だけでなく、鹿の食害を防ぐため植栽箇所にネットを張ったりしました。鹿が多く、植栽しても苗が食べられてしまうので、食害対策には頭を悩ませます。



小学校体験学習(5月16日)

野外学習の一環として、吉田小学校で森林学習の講習を行いました。身近にある樹木の特徴を伝えたり、丸太伐り体験を行ったりと、見たり、聞いたり、肌で感じたり短い時間ではありましたが、少しでも山林に関心を持ってくれたらと思います。



幼稚園木育活動(6月8日)

組合の仕事内容や、チェーンソーによる丸太伐りやイス作りを紹介しました。園児達は、切った丸太を使い小さなアスレチックを作り遊んでいました。木育活動を通し、木や山が好きな子が増えるよう活動に取り組んでいきたいです。



インターンシップ(6月27日)

郡上高校より2名の学生を受け入れました。雨が降っていましたが、熱心に現場作業や、市場の作業工程を学んでいました。将来は組合に入って活躍していただけることを期待します。



★木材市況単価★

樹種	長さ(m)	径級(cm)	平均値(円/m ³)		樹種	長さ(m)	径級(cm)	平均値(円/m ³)	
			県森連岐阜共販所 8月6日市売り	郡上木材センター 8月23日市売り				県森連岐阜共販所 8月6日市売り	郡上木材センター 8月23日市売り
すぎ	3.0	13cm下	7,000	6,500	ひのき	3.0	13cm下	7,000	6,500
		14cm	8,800	9,200			14cm	14,000	11,500
		16cm	12,500	12,200			16cm	17,500	15,800
		18cm		12,700			18cm		18,000
		20cm	12,300	12,500			20cm	13,800	17,000
		22cm		12,000			22cm		-
		24~28cm	11,300	11,500			24~28cm	-	14,500
	30cm上	-	-	30cm上		-	-		
	4.0	13cm下	7,000	6,500		13cm下	7,000	7,500	
		14cm	9,500	10,000		14cm	14,000	14,000	
		16cm	11,800	11,500		16cm	18,000	17,200	
		18cm		12,000		18cm		18,700	
		20cm	13,800	13,500		20cm		17,700	
		22cm		13,900		22cm		17,000	
24~28cm		13,000	13,500	24~28cm	15,100	15,500			
30cm上	11,000	13,500	30cm上	14,500	15,500				
6.0	16~18cm	13,500	-	6.0	16~18cm	22,000	-		
	20cm上	14,500	-	20cm上	-	-			

農林業機械 無料修理会

修理における部品代はご負担ください

10月12日(土)AM9:00~PM4:00

場所 / 郡上森林組合 本所 (☎67-1133)

展示即売会も同時開催

2019年8月より防護ズボンの着用が義務化されました。造園・建設業・家族であっても給与の支払がある場合は義務化対象となります。

安全作業の為に防護ズボン・チャップスを着用しましょう。



脱着簡単
チャップス

チャップスIIファンクショナル
・CLASS1 適合

ブロウ



オールラウンドソー



ガーデンチェーンソー



脱着簡単
チャップス

プロテクティブズボンC-IIJP
・CLASS1



撥水・防風仕様
防護ズボン

プロテクティブズボンF/24-II
・CLASS2

刈払機



薪割機

※取り寄せになります。



その他アクセサリ



着用義務化によりメーカー在庫が少なくなっております。お渡しにはお時間を頂く場合がございます。左記品番は一例です。詳しくはお問い合わせ下さい



郡上森林組合 本所
郡上市八幡町稲成525-7
Tel 0575-67-1133
郡上八幡駅南 恵昇苑郡上様横

発行 郡上森林組合

〒501-4223 岐阜県郡上市八幡町稲成525番地7
Tel(0575)67-1133 Fax(0575)67-1132

<http://www.gujyo-forest.jp>
E-mail gujyo-shinrin@gujyo-forest.jp